



RESPECTion!

～アスリートのために私たちがができるActionを～

RESPECTion!推進委員会

深刻化するアスリートをめぐる問題

2



「アスリートを誹謗中傷しないだけでなく
より多くのアスリートが
RESPECTを受けられるACTIONを

近ごろ、SNS上での誹謗中傷や女性選手への性的ハラスメントなどアスリートを取り巻く環境は新たな局面を迎えています。

2025年のスポーツ基本法の改正では、「アスリートを守る」ための取り組みが法律上明確化されました。この改正はスポーツを通じて社会課題を解決し、すべての人が安心して関われる「スポーツ文化の基盤づくり」を目指すものです。私たちの応援のカタチも、時代に合わせて変わらなければなりません。

その想いを形にするために、現役アスリートやOB・OG、有識者が参画する「RESPECTion!推進委員会」を立ち上げ通年プロジェクトを始動します。

「RESPECTion (リスペクション) ~
アスリートのために私たちができるActionを~」

本プロジェクトでは、現役アスリート、団体・企業、メディアが三位一体となり、SNSでの誹謗中傷のほか女性アスリートへの盗撮や性的ハラスメントなど、あらゆる形の「アスリートの挑戦を阻むもの」をなくし、より多くのアスリートがRESPECTを受けられるよう社会的機運を醸成します。



私たちがテレビやスマホで見るのは、たった「0.1%の結果」です。
その裏には数え切れないほどの過酷な練習、挫折、見えない涙という「99.9%のプロセス」があります。

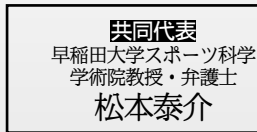
「SNSでの誹謗中傷（拡散）はダサい、時代遅れ」の認識を定着させ、

スポーツ界から社会全体へ波及するムーブメントに

RESPECTion!推進委員



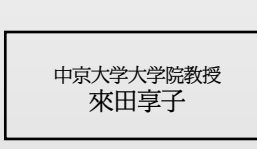
共同代表
青山学院大学陸上競技部
長距離監督
原晋



共同代表
早稲田大学スポーツ科学
学院教授・弁護士
松本泰介



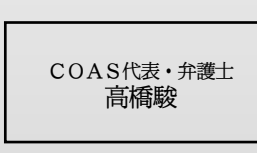
柔道元日本代表
谷本歩実



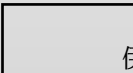
中京大学大学院教授
来田享子



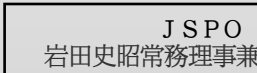
ミズノ株式会社
競泳元日本代表
寺川綾



COAS代表・弁護士
高橋駿



JOC
伊藤弘一理事



JSPS
岩田史昭常務理事兼事務局長



推進委員会

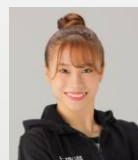


スーパーバイザー
栗山英樹
(日本ハムCBO)

RESPECTion!アスリート



バドミントン
奥原希望
(東京都協会)



体操
杉原愛子
(TRYAS)



カヌー
羽根田卓也
(ミキハウス)



レスリング
樋口黎
(ミキハウス)



レスリング
文田健一郎
(ミキハウス)

RESPECTion!アンバサダー (OB・OG)



バドミントン
高橋礼華



体操
寺本明日香



レスリング
登坂絵莉



レスリング
土性沙羅



競泳
萩原智子



競泳
星奈津美

五輪金メダリストも参画 アスリート同士で理念共有

アスリート同士で共通の理念「RESPECTion!」を共有することで、心強い「盾」となり、選手は安心して競技に取り組み、心身ともに健康な状態で最高のパフォーマンスを披露できると考えています。

あらゆる媒体で 横断的展開

ネットニュース、動画配信プラットフォーム、各放送局や出版媒体とも広く連携。あらゆる接点でプロジェクトを露出させます。多角的な発信により、社会全体での認知拡大と機運醸成を加速させます。

現役 OB・OG アスリート ネットワーク



▶推進イメージ

後援：スポーツ庁、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人 関西経済連合会
協力：一般社団法人 日本トップリーグ連携機構、公益財団法人 日本アイスホッケー連盟、公益財団法人 日本卓球協会、公益財団法人 日本中学校体育連盟、公益財団法人 日本テニス協会、公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会、公益社団法人 日本チアリーディング協会、公益社団法人 日本ホッケー協会（50音順）

社会的意義をプラスする 一段上のスポーツ支援

アスリート支援を「広告」や「話題づくり」にとどめるのではなく、誹謗中傷対策、人権への配慮、健全な応援文化の醸成といった社会的価値を伴う支援であることを、社会に対して明確に示すことができます。企業の立場から見れば、単なるスポンサーではなく、「アスリートとスポーツ文化を守る一段上のサポートを実践するパートナー企業」として、株主や投資家をはじめとするステークホルダーからの共感と理解を得やすくなる点も大きな特徴です。

スポーツ庁、経団連、関経連が後援

RESPECTion!宣言

① RESPECTをカルチャーへ

これまで積み上げてきた努力や背景を尊重する

② 心からの応援がチカラに

最高のパフォーマンスを生み出す応援を選手に届ける

③ アスリートの先に人間がいる

その言葉や画像を投稿する前に一度立ち止まる

④ チャレンジする姿勢にエールを

失敗を過度に責めず挑み続ける勇気を称える

⑤ 社会を変えるACTIONに

すべての人がより尊重される未来をスポーツからつくりだす



◆自身も競技者として1976年モントリオール五輪にクレ-射撃で出場した経験を持つ麻生太郎自民党副総裁 「スポーツってのは、勝った負けたの結果だけを見てりゃいいもんじゃない。そのプロセスや努力の跡に敬意を払うのが、本当のファンというもの。だからこそSNSの使い方を間違っちゃいかん。応援の武器にするか、凶器にするか。その分かれ道がこのプロジェクトなんだろう。日本の新しい文化として定着させなきゃいかん。期待しています」

対象

アスリートのパフォーマンスの場において
内容・人種・容姿に対するSNS上での誹謗中傷

対象外

アスリートのプライベートな問題などへの誹謗中傷

線引き

主に「プラスをつくる」活動で

社会機運を醸成

目標

⑤ 社会を変えるACTIONに

RESPECTion!

マイナスをゼロに

SNSで誹謗中傷をしない

③ アスリートの先に人間がいる

容姿やミスを責めない
スポハラ根絶

④ チャレンジする姿勢にエールを

プラスをつくる

RESPECTしやすい環境を創出

① RESPECTをカルチャーへ

応援の力を
アスリートに届ける

② 心からの応援がチカラに

現状

SNS上での誹謗中傷や性的ハラスメントなど
アスリートを脅かす不安や恐れがある社会

アスリート保護に向け 立法府などへ提言

法整備へアプローチ

5月11日に自民党本部にて開催された情報通信戦略調査会「ネット上の誹謗中傷・偽誤情報等対策小委員会」の役員会において、RESPECTion!の取り組みを紹介しました。会合にはRESPECTion!推進委員の高橋弁護士、RESPECTion!アスリートの樋口黎選手と文田健一郎選手、事務局が出席し、アスリートが直面するネット上の誹謗中傷の過酷な現状や法的課題などについて議論を交わしました。本件については、NHKとTBSのニュース番組でも報道されています。

▶概要

名称：自民党情報通信戦略調査会「ネット上の誹謗中傷・偽誤情報等対策小委員会」役員会
日時：2026年5月11日（月）
会場：自民党本部
出席者：山下貴司議員、西野太亮議員、逢沢一郎議員、石田真敏議員、柴山昌彦議員、山際大志郎議員、島尻安伊子議員、松川るい議員、総務省、RESPECTion!推進委員・高橋弁護士、RESPECTion!アスリート・樋口黎選手、文田健一郎選手、RESPECTion!推進委員会事務局



5月12日放送 NHK「おはよう日本」

メディアも高い注目度



5月11日放送 TBS「Nスタ」



5月12日付サンケイスポーツ



5月12日付産経新聞

**RESPECTion!推進委員の高橋弁護士、RESPECTion!アスリートの樋口選手と文田選手が出席
誹謗中傷の過酷な現状や法的課題など自民党議員らと議論**

RESPECTion!特別授業を 教育機関などで実施 未来をつくる 教育

1. 10代のネット利用の実態

- ・スマホ・SNSネイティブ：小学生からスマホを持ち、LINE、YouTube、TikTokなどを日常的に利用。
- ・高い依存傾向：中高生の約4人に1人がネット依存の傾向にあり、特に女子高校生は毎日100%ネットに接続している。
- ・相談の多さ：未成年が被害者となるネットいじめ、個人情報の流出、性的トラブルが多発しており、特に中学1年生に相談が多い。

2. 必要なネットリテラシーのスキル

- ・情報を見極める力（メディアリテラシー）：フェイクニュースや誤情報、広告を見抜き、発信側の責任について理解する。
- ・情報を守る力（セキュリティ・プライバシー）：個人情報や不適切な写真を一度アップロードすると完全に削除できないことを理解し、パスワード管理を行う。
- ・人間関係を管理する力（コミュニケーション）：SNS上での誹謗中傷が名誉毀損罪に問われることを認識し、ネットで知り合った人を安易に信用しない。
- ・時間・健康を管理する力：スクリーンタイムを意識し、長時間利用による睡眠不足や学業への支障を防ぐ。

7月以降予定

小学校から大学まで様々な年代の教育機関などを対象に、RESPECTion!推進委員会のメンバーらが登壇し特別授業を5回行います。誹謗中傷や晒し、無自覚な加害が生まれる背景を伝えることで、`投稿前に立ち止まる習慣、が身につきます。SNSで誹謗中傷投稿が最も多いとされる10代にダイレクトに訴えかけ、ネットリテラシーの向上に寄与します。



文田健一郎



山梨県立韮崎工業高校

RESPECTion!アスリートらが先生に！

10代に生の声を届けネットリテラシー向上に寄与

初回は7月7日（火）山梨県立韮崎工業高校

文田健一郎選手が母校で登壇予定

RESPECTion! メッセージ

スポーツの注目度が高まる大会 × 共感力の高いメッセージ
スポーツファンや世の中から注目を集める
スポーツイベントの当日に、その大会にまつわる有名選手や
出場選手を周りで支える人からの手紙・檄文を掲出

日本中が、父を見つめる明日がやってくる。

「やらないより、やって後悔。」
父が日本を背負うと決めた夜、家族のスマホに届いたメッセージだ。
何事も楽しめ、といつも言う父らしい。
でも本当は、自分に言い聞かせていたのかもしれない。
家にいるときは、よく試合の映像を深夜まで見ていた。
でも、サッカーの話を家族ですることはなかったよね。
同じ空間にいれば分かり合えていた。それが自然だった。
試合中、ハーフタイムに父が怒鳴っている映像を見たことがある。
驚いた。家では一度も見たことがない“森保監督”だった。
日本中の期待と、計り知れないほどの何かを背負った8年間を試される舞台が、ついにやってくる。
きっと明日も、ぼくたちの知らない父がグラウンドに立つだろう。
でも他の誰も知らない、家族しか知らない父を、ぼくたちは知っている。
この世界には、どんな結果でも批判がつきものだ。覚悟はしている。父は強いから大丈夫。
そう思っている、不安になる。だからぼくらは日本を、監督を、そして父を、声を張り上げて応援するだろう。
もし誹謗や中傷の言葉があるなら、それをかき消すくらい大きな声で。
だって、ぼくたちは世界でいちばんお父さんのサポーターだから。

森保翔平 森保圭吾 森保隼
(2026年6月14日付 産経新聞、サンケイスポーツ掲載)

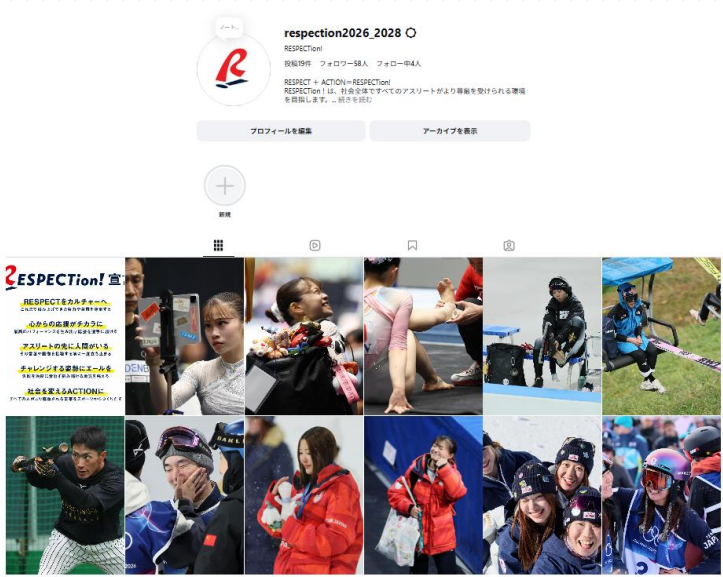


総インプレッション
111万超

原稿のメッセージを求心力にSNSでの話題化へ
スポーツジャンルを跨いだ定例的な活動でRESPECTion!
活動の旗印かつ、ファンが期待を寄せるコンテンツに

RESPECTion! フォト

ウェブ × リアル × ここだけの秘蔵写真
スポーツイベントの期間中や終了後の振り返りとして
普段は表に出ない努力の跡やアスリートの素顔に触れられる写真を
RESPECTion! 公式SNSで毎日発信する
実際に写真展を開いて周知を広めることも視野に



被写体のメッセージ性とインパクトからSNSで話題化へ
アスリートや競技のファンはもちろん
誹謗中傷の投稿件数が最も多い世代である
10代や20代に直接刺さることで価値観を変えるきっかけに

RESPECTion!推進委員やアスリート、団体・企業のSNSアカウントへ
発信協力を仰ぎ、SNSでの拡散を狙う

RESPECTion!ウイーク施策案

RESPECTion!

RESPECTion!カップ

【テーマ：現場で育む、次世代のRESPECT】

心身共に大きく成長する小中学生の時期は、技術向上だけでなく、人間性を育む重要なステージです。本大会では各チームでRESPECTion!にまつわる目標を打ち出し、互いを尊重し合える環境を整えることで、競技を楽しむ継続の鍵とします。まず関西からこの文化を根付かせ、将来的には全国へと広げていくことで、青少年の健全な成長と野球界の活性化に寄与します。



RESPECTion!

日 時：2026年10月10日（土）、11日（日）
会 場：淡路島
競 技：野球

ターゲット層が異なる3つのイベント（子供向けの大会、有識者・大人向けのシンポジウム、全世代向けのフェス）を並べることで、このウイークが「あらゆる世代・立場の人を巻き込むムーブメント」であることを強調できる構成にしています。

RESPECTion!

RESPECTion!シンポジウム

【テーマ：女性アスリートの今に向き合う議論の場】

タイトル：「アスリートの先に、人間がいる ～女性アスリートの声から考える“応援”の未来～（仮題）」
女性アスリートが直面するSNSでの誹謗中傷や盗撮、AIによる画像改変などの深刻な人権侵害（デジタル暴力・性暴力）を直視し、具体的な解決策を議論する場です。現状を放置せずジェンダー視点で問題に取り組み、誰もが安全にスポーツを楽しめる環境づくりに向け、社会全体で連携し行動を考えます。

日 時：2026年10月11日（日）
会 場：サンケイプラザ
人 数：300人程度
費 用：無料（申し込み制）
登壇者：RESPECTion!推進委員（谷本委員、來田委員）
RESPECTion!アンバサダー（登坂さん） ※登壇者ほか調整中

RESPECTion!

RESPECTion!フェス

【テーマ：誰もがアスリートの「凄み」を肌で感じる運動会】

一流アスリートの圧倒的な身体能力を間近で見学・体験し、理屈ではなく心からの「驚き」と「敬意（RESPECT）」が自然と湧き上がるきっかけを提供する、体験型ファミリーイベントです。プロ野球・阪神タイガースなどで活躍した糸井嘉男さんをゲストに招き、子供たちに体を動かすことの楽しさを伝え「挑戦する心」を育みます。



日 時：2026年10月12日（月・祝）
会 場：Anker フロントタウン生田
人 数：参加自由
費 用：無料（一部申し込み制）
ターゲット：ファミリー
ゲ ス ト：糸井嘉男さん（元阪神など）、中西哲生さん（元J1川崎など）
RESPECTion!アスリート（樋口黎選手、文田健一郎選手）
※ゲストほか調整中



フジテレビ／Live News イット!



テレビ東京／スポーツ リアライブ



3月27日付産経新聞（1面）

開催日時：2026年3月26日（木）14時～15時
開催場所：日本プレスセンターホールA
（千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル10階）
主催：RESPECTion!推進委員会
後援：スポーツ庁
一般社団法人日本経済団体連合会
公益社団法人 関西経済連合会

登壇者：共同代表 原晋（青山学院大学陸上競技部 長距離監督）
共同代表 松本泰介（早稲田大学スポーツ科学学術院教授・弁護士）
推進委員 谷本歩実（柔道元日本代表）
推進委員 高橋駿（COAS代表）
推進委員 岩田史昭（JSPO常務理事兼事務局長）
推進委員 伊藤弘一（JOC理事兼事務局長）
アスリート 文田健一郎（ミキハウス）
司会：石本沙織アナウンサー



3月27日付サンケイスポーツ（最終面）

取材申込社

フジテレビジョン
TBSテレビ
株式会社テレビ東京
産経新聞社
読売新聞社
朝日新聞社
日本経済新聞社
中日新聞社
中日新聞東京本社
共同通信社

時事通信社
サンケイスポーツ
スポーツ報知
日刊スポーツ
東京スポーツ新聞社
スポーツニッポン新聞社
デイリースポーツ
株式会社Creative2
（株）日本運動具新報社

年間テーマ「気づく」

2026年3月

RESPECTion!宣言

ロゴマーク露出
メインビジュアル公開
公式SNS開設
公式HPオープン

6月

サッカーW杯

RESPECTion!メッセージ
RESPECTion!フォト

9月

アジア大会

RESPECTion!メッセージ
RESPECTion!フォト

10月

RESPECTion!ウイーク

RESPECTion!カップ
RESPECTion!シンポジウム
RESPECTion!フェス

2027年1月

箱根駅伝

RESPECTion!メッセージ
RESPECTion!フォト

4月以降

ワールドマスタースゲームズ2027関西

RESPECTion!メッセージ
RESPECTion!フォト

